

人間発達科学部の教育評価

—卒業生・卒業予定者に対する質問紙の分析—

村上 宣寛

The Evaluation of the Educational System of Faculty of Human Development

—The Analysis of Questionnaire at the Time of Graduation and Graduate—

Yoshihiro MURAKAMI

E-mail: psycho01@edu.u-toyama.ac.jp

摘要

学部の教育評価のために、大学での授業科目群の有用性評価、大学で習得した能力の自己評価、学生の客観的な成績との相関分析を行った。参加者は卒業生127名と卒業予定者101名であった。卒業生・卒業予定者とも、学校教育と発達福祉の回答が多い。希望通りに進路選択ができたと回答した卒業生は78%、卒業予定者は36%であった。授業科目群の有用性評価と大学で習得した能力の自己評定値は多くの相関が見られ、全体的には教養科目や専門基礎科目よりも、専門共通、免許科目、実習科目、専門科目、卒業研究が役立ったと回答していた。学位授与方針の[創造力]、[幅広い知識]に関する質問項目は7段階評価の4(養われた)に近かった。[コミュニケーション能力]は中央点以下で、やや養われなかったと見なされていた。[専門的知識]では、専門分野の問題解決能力が養われたと見なしていた。[責任感]では、他人に対する直感性や共感性が養われたと考えていた。学位授与方針以外では、視空間能力、認知的処理速度、決断/反応速度、読み書きなどの能力が大学で養われたと考えていた。授業科目群と大学で習得した能力との関係は卒業生と卒業予定者でその内容がかなり異なっていた。これはサンプル・バイアスか、あるいは、社会経験の影響があるかもしれない。学業成績との関係では、卒業生のみ有意な相関が得られた。学業成績が優秀な学生は、新しい問題に取り組む[創造力]が養われたという。しかし、一方、外国語でのコミュニケーション・スキルと負の相関があった。つまり、成績優秀な学生ほど、コミュニケーション能力が必要になり、不足を実感するというところかもしれない。

キーワード：卒業生、卒業予定者、教育評価、授業、習得した能力、成績

目的

2008年の学士課程答申(中央教育審議会大学分科会大学教育部会, 2012, P.17)によると、大学が授与する学士が保証する能力の内容として[知識・理解]、[汎用的能力]、[態度・志向性]、[総合的な学修経験と創造的思考力]が挙げられ、各大学に学位授与方針を明確化するように促した。その結果、富山大学でも学位授与方針として[専門的知識]、[幅広い知識]、[コミュニケーション能力]、[責任感]、[創造力]とされた。富山大学の学位授与方針は学士課程答申を若干手直したにすぎず、個別の専門的教育目標と整合性を持つものではない。また、人間の知的能力のごく一部を取り上げたにすぎない。

人間の知的能力についての研究で、実証的な因子分析的研究を集大成したのがキャテラー・ホーン・キャ

ロールのCHC理論である。CHC理論によると、一番上位の第三層には知的能力すべてに関わる一般知能がある。第二層は一般的な16の因子が確認されている(村上, 2013)。

学位授与方針で規定される能力と最新の心理学で既定された能力との対応付けは難しいが、[専門的知識]と[コミュニケーション能力]は特定領域での一般的知識と結晶的知能と、[幅広い知識]は結晶的知能と、[創造力]は流動的知能や長期記憶と検索に関係しそうである。なお、[責任感]は知的能力に含まれないが、ガードナーの人間関係的知能に対応づけられるかもしれない。

本調査の目的は学部の教育評価を行うことである。そのため、学部を中心とした教育内容、大学で習得した能力について、卒業生と卒業予定者に自己評価による有用性評価を求めて相関分析を行う。また、

学生の成績を点数化した客観的な外的基準を導入し、それとの相関分析も行う。卒業生と卒業予定者のデータは比較可能な形で可能な限り同時に提示する。

方法

質問紙

卒業生、卒業予定者に対する質問紙の内容は2013年度と同一の29項目、5段階評定尺度である。卒業生、卒業予定者には学籍番号を記名させる方式で実施した。卒業生が学籍番号を失念の場合にのみ氏名を書かせた。

参加者

卒業生の調査時期は2013年の秋で、就職支援グループが行った。卒業生は、平成23年3月で人間発達科学部175名、教育学部2名、平成24年3月人間発達科学部165名、教育学部1名、平成25年3月人間発達科学部161名であった。不完全回答を除外した完全回答者はそれぞれ、40名、39名、48名の127名であった。全体の回収率は25%であった。

他学部の回収率は不明であるが、極端に悪い回収率ではなかった。

卒業予定者の調査時期は2014年3月で、人間発達科学部教務が行った。対象者は平成26年3卒業生161名で、完全回答者は101名であった。回収率は62.7%であった。

結果

全回答者の内訳を表1に示す。卒業生と卒業予定者とも比率は同じ程度であり、各コースから均等に回答が広く寄せられていた。なお、卒業予定者調査でコースを選択していない者が1名いたが、集計に含めた。

卒業後の進路を表2に示す。企業、公務員、教員、大学院の進学、その他と、卒業後の進路は広く分散していた。本学部の特徴かもしれない。

進路選択が希望通りであったかを表3に示す。卒業生は希望通りであったという回答に偏っている。この傾向は卒業予定者H26.3とは異なっている。つまり、卒業生のデータはサンプルに偏りがあると

表1：回答者の内訳

所属コース	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	比率	H26.3	比率
1 教育心理	0	1	3	4	0.03	7	0.07
2 学校教育	10	16	15	41	0.32	33	0.33
3 発達福祉	11	9	8	28	0.22	22	0.22
4 地域スポーツ	6	4	4	14	0.11	10	0.10
5 環境社会	5	4	6	15	0.12	10	0.10
6 人間情報	8	5	12	25	0.20	18	0.18

表2：卒業後の進路

進路	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	比率	H26.3	比率
1 企業	9	12	8	29	0.23	19	0.19
2 公務員	9	10	10	29	0.23	22	0.22
3 教員	18	13	22	53	0.42	17	0.17
4 本学の院	1	1	3	5	0.04	10	0.10
5 他大学の院	0	0	1	1	0.01	10	0.10
6 その他	3	3	4	10	0.08	23	0.23

表3：希望どおりに進路選択ができたか

選択枝	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	比率	H26.3	比率
1 ぜんぜん希望通りでない	0	1	0	1	0.01	18	0.18
2 ほぼ希望通りでない	2	4	1	7	0.06	10	0.10
3 どちらとも	4	7	19	20	0.16	28	0.28
4 ほぼ希望通り	18	9	14	41	0.32	21	0.21
5 完全に希望通り	16	18	24	58	0.46	15	0.15
6 (選択ミス)						9	0.09

見なせる。すなわち、卒業予定者 H26.3 の方が真実に近いと考える。

授業科目群の評価

次の大学教育が、現在の自分にどの程度役立ったのかについてを、1…まったく役立たなかった、から 5…大きく役立った、の 5 段階評価で求めた。

平均値は中央よりだが、役立った方に偏っていた。科目群は、1. 教養科目、2. 発達科学概論、基礎ゼ

ミなどの専門基礎科目、3. インターンシップ、ボランティア体験などの専門共通科目、4. 教員免許状に関する科目、5. 教育実地体験などの実習科目、6. 専門領域の専門科目、7. 卒業研究であった。

卒業年度による評価の違いはないようだ。全体的には教養科目や専門基礎科目よりも、専門共通、免許科目、実習科目、専門科目、卒業研究が役立ったと回答している。

表 4：授業科目群の評価の平均（標準偏差）

科目区分	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	H26.3
1 教養科目	3.15 (1.22)	3.23 (1.00)	3.40 (0.84)	3.27 (1.02)	3.44 (0.98)
2 専門基礎	3.53 (1.14)	3.54 (1.13)	3.60 (0.97)	3.56 (1.08)	3.33 (0.81)
3 専門共通	4.00 (0.78)	4.13 (0.88)	4.27 (0.81)	4.14 (0.83)	3.73 (0.99)
4 免許科目	3.90 (1.16)	3.62 (1.37)	3.98 (0.95)	3.84 (1.17)	3.89 (1.01)
5 実習科目	4.30 (1.17)	4.15 (1.21)	4.42 (0.91)	4.30 (1.10)	3.78 (0.97)
6 専門科目	4.40 (0.77)	3.97 (1.14)	4.10 (0.82)	4.16 (0.93)	4.03 (0.83)
7 卒業研究	4.05 (0.92)	3.64 (1.10)	3.96 (0.84)	3.89 (0.97)	4.18 (0.81)

大学で養われた能力の自己評価データ

どのような能力が養われたかに関して、1…まったく養われなかった、から、5…大きく養われた、の 5 段階で自己評価を求めた。卒業生、卒業予定者アンケートは共に類似の傾向を示していた。

学位授与方針の [創造力]、[幅広い知識] に関する質問項目は評価が 4 に近く、養われたと評価されていた。[コミュニケーション能力] は中央点

以下で、やや養われなかったと見なされている。[専門的知識] に関しては、一般的な知識が養われたとはいえないが、専門分野の問題解決能力が養われたと見なしていた。[責任感] に関しては、他人に対する直感力や共感性が養われたと考えていた。

学位授与方針以外では、視空間能力、認知的処理速度、決断/反応速度、読み書き、の能力が大学で養われたと考えていた。

表 5：大学で習得した能力の自己評価の平均（標準偏差）

[学位授与方針] と (他の知的能力)	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	H26.3
1 [創造力] 新しい問題にじっくり取り組んで解決する能力が養われた。	3.40 (1.07)	3.82 (0.68)	3.44 (0.98)	3.54 (0.95)	3.90 (0.95)
2 [創造力] 図に書いたり、分類して考える能力が身についた。	3.00 (1.05)	3.21 (1.02)	3.35 (0.90)	3.20 (1.00)	3.52 (0.85)
3 [創造力] 多様な文献を収集し、析する能力が養われた。	3.63 (1.07)	3.87 (0.91)	3.75 (0.88)	3.75 (0.96)	3.62 (0.89)
4 [幅広い知識] 口頭発表や討論などのプレゼンテーション能力が養われた。	3.83 (0.83)	3.92 (0.86)	3.83 (0.92)	3.86 (0.88)	3.70 (0.93)
5 [幅広い知識] 様々な領域の語彙を理解し、使いこなせるようになった。	3.08 (1.15)	2.82 (0.96)	2.94 (0.94)	2.95 (1.02)	3.34 (0.97)
6 [コミュニケーション能力] 外国語でのコミュニケーション・スキルが養われた。	2.33 (1.33)	2.18 (1.17)	2.35 (1.09)	2.29 (1.20)	2.80 (1.04)
7 [専門的知識] 専門分野の一般的な知識が養われた。	3.98 (0.88)	3.82 (0.90)	3.85 (0.79)	3.88 (0.86)	3.15 (1.11)
8 [専門的知識] 専門分野の問題解決能力が養われた。	3.50 (0.89)	3.51 (0.98)	3.54 (0.74)	3.52 (0.87)	3.67 (0.82)
18 [責任感] 市民・専門職業人としての社会的責任感が養われた。	3.50 (1.00)	3.77 (1.05)	3.56 (1.02)	3.61 (1.03)	3.33 (1.11)

[学位授与方針]と(他の知的能力)	H23.3	H24.3	H25.3	H23-5	H26.3
19 [責任感] 他人に対する直感力や共感性が養われた。	4.10 (0.77)	4.05 (0.75)	3.85 (0.84)	3.99 (0.80)	3.76 (0.90)
9 (視空間能力) 視覚的なイメージを把握する能力が養われた。	3.08 (1.01)	3.18 (0.98)	3.13 (0.90)	3.13 (0.96)	3.52 (0.82)
10 (聴覚的処理) 音声を弁別したり、音楽の演奏の特徴を判断する能力が養われた。	2.23 (1.15)	2.28 (0.99)	2.29 (1.04)	2.27 (1.06)	2.96 (1.09)
11 (長期記憶と検索) 学習した内容を思い出して流ちょうに表現する能力が養われた。	2.78 (0.85)	2.92 (0.83)	3.00 (0.96)	2.91 (0.89)	2.84 (1.14)
12 (認知的処理速度) よく学習した内容の課題なら速やかに実行できる能力が養われた。	3.25 (0.86)	3.49 (0.90)	3.54 (0.76)	3.43 (0.85)	3.37 (0.97)
13 (決断/反応速度) 簡単な問題なら、正しいか間違っているか、素早く判断する能力が養われた。	3.33 (1.03)	3.56 (0.81)	3.60 (0.84)	3.50 (0.90)	3.55 (0.80)
14 (量の知識) 数量的知識やセンスが養われた。	2.58 (1.09)	2.59 (1.06)	2.85 (1.12)	2.69 (1.10)	3.22 (0.95)
15 (読み書き) 文献や書物を読む能力が養われた。	3.33 (1.03)	3.72 (0.85)	3.56 (0.91)	3.54 (0.95)	3.38 (1.05)
16 (読み書き) 文章を分かりやすく書く能力が養われた。	3.43 (0.83)	3.69 (0.82)	3.44 (0.93)	3.51 (0.88)	3.72 (0.88)
17 (精神運動能力) 身体運動の巧みさや手先の器用さが養われた。	2.88 (1.19)	2.80 (1.11)	2.75 (1.09)	2.80 (1.13)	3.28 (1.10)

進路選択の希望との相関

[希望どおりに進路の選択ができたと思いますか] は、1…ぜんぜん希望通りではなかった、から、5…完全に希望通りだった、という5段階評価であった。この評価段階と、大学の科目群の評価、大学で習得した能力との相関を求めた。

大学の科目群との関係

卒業生アンケートは一括したデータである。H26.3は卒業予定者アンケートである。一貫して相関があった科目群は、専門基礎で、進路選択に影響していると考えられる。まったく相関がなかったのは教養科目、免許科目であった。教養科目は内容的に進路選択とは無関係ということであろう。免許科目は進路と密接に関係しているが、進路が決まった後であり、進路選択の判断には使われないということであろう。

表6：大学の科目群との相関

科目区分	H23-5	H26.3
1 教養科目	0.09	0.16
2 専門基礎	0.30**	0.31**
3 専門共通	0.12	0.28**
4 免許科目	0.15	-0.03
5 実習科目	0.22*	0.16
6 専門科目	0.17	0.29**
7 卒業研究	0.26**	0.09

大学で習得した能力の自己評価との関係

進路の選択が希望通りにできたと回答した学生は、[専門的知識] 専門分野の一般的な知識が養われた、(読み書き) 文献や書物を読む能力が養われた、と回答する傾向があった。これは卒業生調査、卒業予定者調査とも同じであった。[創造力]の質問項目とは相関が一つだけあるが、[幅広い知識]、[コミュニケーション能力]とは相関がなかった。卒業生では(認知的処理速度)、(決断/反応速度)、(量の知識)、(読み書き)と、卒業予定者では(長期記憶と検索)、[責任感]と相関があった。

授業科目群と大学で習得した能力との関係

卒業生の場合

学位授与方針関連を見てみよう。

[創造力]は、教養科目、専門共通、免許科目、専門科目、卒業研究に関係していた。

[幅広い知識]は専門科目に関係していた。

[コミュニケーション能力]は教養科目に関連していた。

[専門的知識]はほぼすべての科目群と関係していた。

[責任感]は、教養科目、専門基礎、専門共通、専門科目に関係していた。

その他の能力では、長期記憶と検索が専門基礎や

免許科目と、認知的処理速度が専門共通と、決断/知識が教養科目と、読み書きが専門基礎、専門科目
 反応速度が教養科目、専門基礎、専門共通と、量の と、関係していた。

表7：大学で習得した能力の自己評価との相関

[学位授与方針]と(他の知的能力)	H23-5	H26.3
1 [創造力]新しい問題にじっくり取り組んで解決する能力が養われた。	0.08	0.01
2 [創造力]図に書いたり、分類して考える能力が身についた。	0.24**	-0.03
3 [創造力]多様な文献を収集し、分析する能力が養われた。	0.15	0.15
4 [幅広い知識]口頭発表や討論などのプレゼンテーション能力が養われた。	0.08	0.05
5 [幅広い知識]様々な領域の語彙を理解し、使いこなせるようになった。	-0.06	0.04
6 [コミュニケーション能力]外国語でのコミュニケーション・スキルが養われた。	-0.09	0.06
7 [専門的知識]専門分野の一般的な知識が養われた。	0.31**	0.26**
8 [専門的知識]専門分野の問題解決能力が養われた。	0.11	0.11
18 [責任感]市民・専門職業人としての社会的責任感が養われた。	0.12	0.10
19 [責任感]他人に対する直感力や共感性が養われた。	0.13	0.29**
9 (視空間能力)視覚的なイメージを把握する能力が養われた。	0.06	0.02
10 (聴覚的処理)音声を弁別したり、音楽の演奏の特徴を判断する能力が養われた。	0.06	0.06
11 (長期記憶と検索)学習した内容を思い出して流ちょうに表現する能力が養われた。	0.09	0.26**
12 (認知的処理速度)よく学習した内容の課題なら速やかに実行できる能力が養われた。	0.18*	0.16
13 (決断/反応速度)簡単な問題なら、正しいか間違っているか、素早く判断する能力が養われた。	0.20*	0.09
14 (量の知識)数量的知識やセンスが養われた。	0.23*	-0.04
15 (読み書き)文献や書物を読む能力が養われた。	0.20*	0.23*
16 (読み書き)文章を分かりやすく書く能力が養われた。	0.18*	-0.05
17 (精神運動能力)身体運動の巧みさや手先の器用さが養われた。	0.00	0.04

表8：卒業生の場合

	教養科目	専門基礎	専門共通	免許科目	実習科目	専門科目	卒業研究
1 [創造力]新しい問題にじっくり取り組んで解決する能力が養われた。	0.32**	0.31**	0.13	-0.00	-0.09	0.11	0.22*
2 [創造力]図に書いたり、分類して考える能力が身についた。	0.31**	0.34**	0.23**	0.30**	0.12	0.24**	0.31**
3 [創造力]多様な文献を収集し、分析する能力が養われた。	0.06	0.10	0.31**	0.25**	0.25**	0.34**	0.18
4 [幅広い知識]口頭発表や討論などのプレゼンテーション能力が養われた。	0.02	0.08	0.20*	0.08	0.05	0.36**	0.21*
5 [幅広い知識]様々な領域の語彙を理解し、使いこなせるようになった。	0.07	0.15	0.19*	0.19*	0.11	0.23**	0.09
6 [コミュニケーション能力]外国語でのコミュニケーション・スキルが養われた。	0.23*	0.07	0.01	-0.01	-0.08	-0.04	0.08
7 [専門的知識]専門分野の一般的な知識が養われた。	0.24**	0.36**	0.26**	0.23*	0.28**	0.52**	0.24**
8 [専門的知識]専門分野の問題解決能力が養われた。	0.16	0.18*	0.35**	0.29**	0.28**	0.37**	0.13
18 [責任感]市民・専門職業人としての社会的責任感が養われた。	0.27**	0.38**	0.25**	0.08	0.04	0.16	0.20*
19 [責任感]他人に対する直感力や共感性が養われた。	-0.08	0.08	0.00	0.05	0.08	0.21*	0.16
9 (視空間能力)視覚的なイメージを把握する能力が養われた。	0.19	0.19*	0.13	0.23*	0.10	0.14	0.08
10 (聴覚的処理)音声を弁別したり、音楽の演奏の特徴を判断する能力が養われた。	0.18	0.20*	0.11	0.20*	0.11	-0.04	-0.11

	教養科目	専門基礎	専門共通	免許科目	実習科目	専門科目	卒業研究
11 (長期記憶と検索) 学習した内容を思い出し て流ちょうに表現する能力が養われた。	0.16	0.26**	0.18*	0.27**	0.21*	0.20*	0.14
12 (認知的処理速度) よく学習した内容の課題 なら速やかに実行できる能力が養われた。	0.17	0.17	0.27**	0.11	0.17	0.20*	0.13
13 (決断/反応速度) 簡単な問題なら、正しいか 間違っているか、素早く判断する能力が養わ れた。	0.28**	0.27**	0.26**	0.09	0.09	0.13	0.13
14 (量の知識) 数量的知識やセンスが養われた。	0.26**	0.20*	0.12	0.07	0.03	-0.02	0.06
15 (読み書き) 文献や書物を読む能力が養われ た。	0.18*	0.29**	0.20*	0.13	0.12	0.10	0.10
16 (読み書き) 文章を分かりやすく書く能力が養 われた。	0.15	0.21*	0.30**	0.12	0.15	0.25**	0.08
17 (精神運動能力) 身体運動の巧みさや手先の 器用さが養われた。	0.20*	0.21*	0.03	0.17	0.03	0.03	-0.08

卒業予定者の場合

学位授与方針関連を見てみよう。

[創造力] は、専門基礎と卒業研究に関係してい
た。

[幅広い知識] も、専門基礎と卒業研究に関係し
ていた。

[コミュニケーション能力] は教養科目と専門基
礎に関係していた。

[専門的知識] は教養科目、専門基礎、卒業研究

に関係していた。

[責任感] は専門基礎と専門共通に関係していた。

その他の能力では、視空間能力は教養科目、専門
基礎、卒業研究と、聴覚的処理は専門基礎と、長期
記憶と検索は専門基礎、専門共通と、認知的処理速
度は専門基礎、決断/反応速度は専門基礎と、読み
書きは専門基礎と、精神運動能力は専門基礎と、関
係していた。しかし、実習科目や専門科目は、どの
能力ともほとんど相関がなかった。

表 9 : 卒業予定者調査の場合

	教養科目	専門基礎	専門共通	免許科目	実習科目	専門科目	卒業研究
1 [創造力] 新しい問題にじっくり取り組んで解 決する能力が養われた。	0.21*	0.29**	-0.03	0.08	-0.22*	-0.08	0.43**
2 [創造力] 図に書いたり、分類して考える能力 が身についた。	0.18	0.24*	0.14	-0.02	-0.24*	-0.12	0.34**
3 [創造力] 多様な文献を収集し、分析する能力 が養われた。	0.181	0.32**	0.23*	-0.01	-0.07	-0.04	0.31**
4 [幅広い知識] 口頭発表や討論などのプレゼン テーション能力が養われた。	0.12	0.30**	0.18	0.19	-0.02	0.02	0.28**
5 [幅広い知識] 様々な領域の語彙を理解し、使 いこなせるようになった。	0.26**	0.29**	0.18	0.15	0.01	0.09	0.31**
6 [コミュニケーション能力] 外国語でのコミュ ニケーション・スキルが養われた。	0.30**	0.38**	0.11	0.19	-0.05	-0.07	0.20*
7 [専門的知識] 専門分野の一般的な知識が養わ れた。	0.091	0.35**	0.47**	-0.08	0.06	0.20*	0.21*
8 [専門的知識] 専門分野の問題解決能力が養わ れた。	0.29**	0.33**	0.16	0.14	-0.04	0.04	0.40**
18 [責任感] 市民・専門職業人としての社会的責 任感が養われた。	0.14	0.22*	0.29**	-0.15	0.09	0.19	0.16
19 [責任感] 他人に対する直感力や共感性が養わ れた。	0.14	0.38**	0.19	-0.01	-0.01	0.02	0.21*
9 (視空間能力) 視覚的なイメージを把握する 能力が養われた。	0.31**	0.30**	0.22*	0.10	-0.03	0.08	0.35**
10 (聴覚的処理) 音声を弁別したり、音楽の演 奏の特徴を判断する能力が養われた。	0.19	0.31**	-0.06	0.23*	0.05	-0.06	0.22*
11 (長期記憶と検索) 学習した内容を思い出し て流ちょうに表現する能力が養われた。	0.080	0.26**	0.29**	-0.02	0.10	0.18	0.18

	教養科目	専門基礎	専門共通	免許科目	実習科目	専門科目	卒業研究
12 (認知的処理速度)よく学習した内容の課題なら速やかに実行できる能力が養われた。	0.25*	0.28**	0.21*	0.03	0.12	0.11	0.32**
13 (決断/反応速度)簡単な問題なら、正しいか間違っているか、素早く判断する能力が養われた。	0.14	0.34**	0.07	-0.05	-0.01	0.02	0.11
14 (量の知識)数量的知識やセンスが養われた。	0.17	0.01	-0.17	0.01	-0.00	-0.03	-0.01
15 (読み書き)文献や書物を読む能力が養われた。	0.00	0.25*	0.18	-0.22*	0.00	0.15	0.22*
16 (読み書き)文章を分かりやすく書く能力が養われた。	0.24*	0.29**	0.12	0.05	-0.12	-0.03	0.18
17 (精神運動能力)身体運動の巧みさや手先の器用さが養われた。	0.12	0.27**	-0.09	0.16	0.04	-0.12	0.01

学業成績との相関

学業成績 (優 3, 良 2, 可 1 とした場合の平均点) と質問項目との相関分析を行った。卒業生調査で二つの有意な相関が得られた。

[創造力] 新しい問題にじっくり取り組んで解決する能力が養われた。0.22 ($p<0.5$)

[コミュニケーション能力] 外国語でのコミュニケーション・スキルが養われた。-0.23 ($p<0.5$)

学業成績が優秀な学生は、新しい問題に取り組む [創造力] が養われたという。したがって、本学の教育が創造力にある程度役立っていると見なせるだろう。

一方、[コミュニケーション能力] では逆相関であり、学業成績の優秀な学生は養われたと思わず、逆に、学業成績の劣る学生は養われたと思っていた。言い換えると、成績優秀な学生ほど、コミュニケーション能力が必要になり、不足を実感するということころだろうか。外国語教育の水準が低すぎる可能性もある。

参考文献

- [1] 中央教育審議会大学分科会大学教育部会
2012 予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ。(審議まとめ)
- [2] 村上宣寛 2007 IQ ってホントは何なんだ? 知能をめぐる神話と真実. 日経 BP 社.
- [3] 村上宣寛 2013 人間発達科学部の教育評価ー卒業時の質問紙の分析ー。富山大学人間発達科学部紀要, 8, 1, 1-8.

(2014年10月7日受付)

(2014年12月10日受理)